

# ふれあい通信

## いざという時の心構えを

今年は6月からの猛暑、一時梅雨の戻りもありましたが、記録的な暑さが続く夏となりました。(この広報が届く頃には、秋らしくなっているかもしれません?)

異常とも言える気候変動の影響により、全国各地でこれも記録的な豪雨によって大きな被害が発生しています。本町も令和元年の自然災害により、甚大な被害を受けたわけですが、道路、河川、治山等の公共事業の復旧も今年になってようやく終了しました。これから台風シーズンを迎え、また大規模な地震発生も懸念されていますので、皆さまには、万が一の災害に備えての心構えを常に持っていて欲しいと思います。

## 引き続き感染症対策を お願いします

コロナ感染症の拡大に歯止めがかかりません。本町の感染者も大幅に増えてきています。都市部での急増が地方にまで及んできているようです。

第7波となる今回は、これまでと違って



長南町長  
平野 貞夫

SADA😊  
No.42

行動制限はありません。感染者の増加はある程度織り込み済みなのかは分かりませんが、医療の逼迫が顕著です。重症患者は入院できますが、軽症・中等症の患者は自宅療養となり、療養中に急変してしまうというケースが増えているそうです。

経済との両立を図ることによって元の生活を取り戻していくということですが、皆さまにはこれまでと同様、油断することなく感染対策にはしっかりと向き合っていたいただきたいと思っています。

町としても、フェスティバルなど地域を元気にするイベントの実施については、これまでとは違った形での取り組みを考えているところです。

## 地域の活性化につなげる

このところの物価高騰やコロナ禍という

こともあって生活環境に変化ができています。が、今回も国の臨時交付金を活用して、感染症対策、経済対策など地域活性化に向けた様々な事業の展開を考えています。物価高騰に伴う生活支援として一人一万円の地域応援券を全住民に配布することになっています。当初は現金給付も検討しましたが、地域経済を考慮し、地元商店で利用できる応援券にしたところです。

また、町内で安心して遊び過ごせる場所として、野見金公園に遊具を設置し、旧長南小学校にスケートボードランプを設置することになっています。

特にスケートボードは親子で楽しむことができるスポーツとして人気が高いことから、町の売りのひとつにしたいと考えています。

今年の夏は、トリプルパンチに見舞われてはいますが、皆さまにはご自愛いただき、この夏を乗り切って欲しいと思っています。

